

2分割 液晶パネル用 コンパクトタイプ MIPI信号発生器(TLL-3080+TMC-10S x2) 製品概要

装置概要

システム構成

・信号発生器(TLL-3080)	1台
・操作器(RBC-01)	1台
・ACアダプター	1個
・操作器ケーブル	1本
・LVDS-MIPI変換器(TMC-10S)	2台
・TLL-TMC INPUT51-60ケーブル(TLL⇒TMC)	1本
・TLL-TMC INPUT41-60ケーブル(TLL⇒TMC)	1本
・PAP12-PAP12 RSTFケーブル(TLL⇒変換基板)	1本
・PSD4C40-PHR14ケーブルTC(TLL⇒変換基板)	1本
・PSD4C16-PHR6ケーブルTC(TMC⇒変換基板)	2本
・HDEB9P-HDEB9P C3ケーブル(TMC⇔TMC)	1本
・51ピンケーブル(TMC⇒変換基板)	2本
・変換基板	1枚
・パネルケーブル	1本



コンパクトタイプ
信号発生器
(TLL-3080)

操作器(RBC-01)



コンパクトタイプ
LVDS-MIPI変換器
(TMC-10S)



お問合せ

合同会社 ARSテクノロジー
神奈川県大和市福田8-11-3
藤岡第5ビル101号
TEL 046-201-0381 FAX 046-201-0383

用途

TLL-3080(以下本機)は、中小型LCDパネルを対象としたLVDS信号発生器です。表示パターン及びパネル制御データの作成は、外部パソコンにてアプリケーションソフトを用いて作成することができます。作成されたデータはUSB経由で外部パソコンより本機へ書き込み記憶させる事ができます。

表示可能なパネルサイズは最大WUXGA(1920x1200)x2画面で、RGB各6ビットまたは8ビットとプログラム可能な汎用GPIO信号が使用可能です。

本機に接続する専用操作器(RBC-01)は、表示ON/OFFやパターン切替えなどの基本操作が可能で点灯検査を行うのに適しています。Autoモードでは、自動で表示パターンが切替わります。また、LVDS-MIPIインターフェース変換器を接続する事によってMIPIインターフェースのモジュール検査が可能になります。データレーンは8レーンを装備し、データ転送スピードは1Gbpsまでまで対応しています。

仕様

1. 一般仕様

入力電圧	DC 24V/2.0A
解像度	1920 x 4096 (x2画面)
ドットクロック周波数	332MHz (83MHz x 4ch)

2. 外形寸法

信号発生器(TLL-2080)	W174 x H43 x D230 mm	(突起物を除く/ゴム足付き)
操作器(RBC-01)	W135 x H28 x D144 mm	(突起物を除く/ゴム足付き)
MIPI変換器(TMC-10S)	W214 x H36 x D123 mm	(突起物を除く/ゴム足付き)

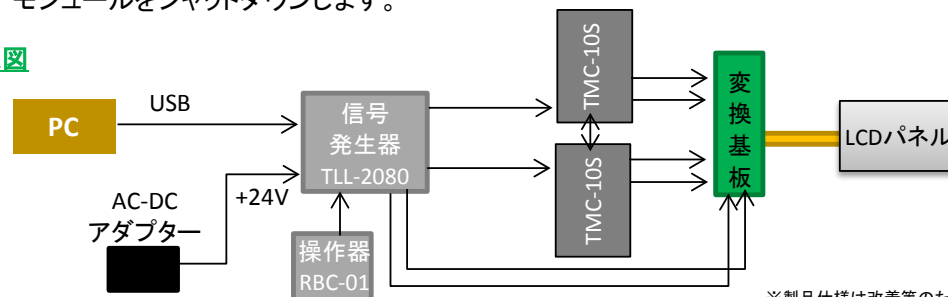
3. 重量

信号発生器(TLL-2080)	1.2 Kg
操作器(RBC-01)	0.6 Kg
MIPI変換器(TMC-10S)	0.7Kg

特長

- ・パネル表示用データとして、20品種分のデータを保存できます。
- ・1品種のデータには、4種類のタイミング設定、50の表示パターンを含む事が出来ます。
- ・外部パソコン用アプリケーションソフトでは、表示パターン及びタイミング信号の作成や設定が行えます。設定内容はファイルにして保存することができます。
- ・表示ON/OFF制御や表示パターンの更新は、操作器により操作を行う事ができます。
- ・生産品種の変更も操作器で行うことができます。
- ・パネル駆動用の電源として、液晶駆動電源とエッジLEDバックライト電源を出力します。
- ・Vcom調整を手動で行うことができます。
- ・液晶駆動電源やエッジLEDバックライトに異常が発生した場合、それぞれのエラーを検知しモジュールをシャットダウンします。

システム図



※製品仕様は改善等のため、予告なく変更する場合があります。